

編集後記

最近注目した2つの雑誌創刊の話題についてご紹介する。まず、

一つ目は、柴田元幸先生が編集する文芸誌「モンキービジネス」。ご存知の方も多いと思うが、柴田先生は東京大学で教鞭を取られており、滑らかな訳文での現代米国文学の翻訳や、大学でのユニークな教育実践で知られている。これまでの文芸誌は、純文学作家の方々が小説等文章を投稿してその一部が単行本化されていく、という地味な位置づけのものであった。しかし、この「モンキービジネス」は型破りで、ちょっと主流からそれるような作家の作品や翻訳も掲載している。さらに、各号に“野球”とか“眠り”とか、文学との関係は？と首をひねるようなテーマが掲げられる。この文芸誌の売り上げが、すこぶる好調とのことだ。

もう一つの雑誌の話題は、“科学リテラシー”についてである。もちろん、以前より「Newton」等の雑誌があるわけであるが、科学に対する基盤となる理解力を一般の方々に身につけていただくことを直接の目標として、数誌が最近出版されているようだ。これらは採算はあまり考えず、公

の資金が投入されている事実により、その力の入れ方がわかる。

上記2つの話題は、一般の方々をターゲットにした雑誌に関する動きの例である。ひるがえって、この学会誌は、その対象とする読者の大半は大学院生以上のプラズマあるいはその周辺の科学のご専門家であるので、プラズマ・核融合を分野として正統的に盛り立てていく使命がまずあり、レベルを極端に落としたり、奇をてらったり、あるいは記述に正確性を欠いたりしてはいけない。しかし、学会全体としては、プラズマに関する学問の裾野を広げ一般社会に浸透させる活動は大切だと思う。これまでの本学会での一般向け講演会の開催や、「プラズマエネルギーのすべて」の発刊にみられるような、一般の方々向けの教育・研究情報開示という趣旨に沿った企画は重要であり、今後もそのような活動が（“断続的”ではなく、できれば）継続的に行われることを期待したいし、個人レベルから何ができるかも考えてみたいと思う。（酒井 道）

プラズマ・核融合学会役員

会 長	松田慎三郎	副 会 長	三間 罔興	本島 修	常務理事	中村 幸男（総務委員長）
理 事	秋山 秀典（企画委員長）		板垣 正文		伊藤 早苗	
	今井 剛（広告委員長）		奥野 健二		加藤 敬（財務委員長）	
	近藤 光昇		笹尾真実子		佐野 史道（出版委員長）	
	寺井 隆幸（編集委員長）		畑山 明聖（広報委員長）		浜口 智志（プログラム委員長）	
	林 康明		森 雅博			
監 事	飯尾 俊二		松尾 慶一			

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 寺井隆幸（東大）

エディター 岡子秀樹（九大）、田中雅慶（九大）、福山 淳（京大）、村上匡且（阪大）、室賀健夫（核融合研）、行村 建（同志社大）

編集委員 石島達夫（名大プラズマナノ）、伊藤清一（広島大）、打田正樹（京大エネ科）、江原真司（九大総合理工）、大谷寛明（核融合研）、大矢恭久（静大理）、菊池祐介（兵庫県立大）、栗本祐司（シャープ）、後藤基志（核融合研）、齋藤和史（宇都宮大）、酒井 道（京大院工）、榊原 悟（核融合研）、坂本隆一（核融合研）、佐藤 聡（原子力機構）、佐藤杉弥（日本工業大工）、田中照也（核融合研）、田中康規（金沢大）、長友英夫（阪大レーザー研）、浪平隆男（熊大院自然）、畠山賢彦（東北大金研）、花田和明（九大応力研）、濱口真司（核融合研）、林 伸彦（原子力機構）、平田孝道（武蔵工大工）、森 道昭（原子力機構関西）、吉川正志（筑波大院数理）、吉田弘樹（岐阜大工）

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第84巻第9号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,365円（本体1,300円）

印刷 株式会社荒川印刷

2008年（平成20年）9月25日

本誌に掲載された寄稿等の著作権は（社）プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月第1火曜日に開かれています。但し、都合により変更になる場合があります。